

素敵な教職員の皆さんに、ONとOFFのスマートスタイルについてお聞さしていきます。



「ワーク・ライフ・バランス」を自分は保っているのだろうかと考え、イエスでもノーでもあります。この理念は、仕事と家庭生活とをうまく時間配分し、心を切り替えバランスを取っていくことが、人間らしい生活としてあるべき姿という意味だと思のですが、現実にはなかなか難しいものです。

私は2014年に富山大学大学院医学薬学研究部に英語担当の准教授として採用され、現在は教養教育院に所属し、主に教養英語を担当しています。2010年に長男を出産し、その時は非常勤講師として、また博士課程の学生として博士論文を執筆しながら、家事や育児に取り組む日々でした。2015年に次男を出産し、現在、二足も三足も草鞋を履いて走り続ける毎日です。「ワーク・ライフ・バランス」を保つためには、時間が最大のカギです。24時間の間にどれだけ良い仕事をできるか、またどれくらい効率的に仕事や家事をこなせるかがポイントです。私の「ワーク」は、教養英語の授業、教養教育に関する庶務他、専門である日系アメリカ人の文学や、富山の文学、ラフカディオ・ハーンなどの研究を行うことです。さいわい、ある特定の場所にいななければできない仕事というわけではないので、いろいろな隙間時間をフル活用しています。朝は洗濯物を干したり、たたみながら、パソコンでまずメールをチェックします。勤務中、廊下はたいてい小走りか早歩き、論文や発表についての構想を練ったり、授業や発表のシュミレーションをしながら歩きます。子供を保育園や学童に迎えにいく前、少し早く着いたときなどには、高速道路を降りた駐車場で10分でも、読み切れなかった文献などを読みます。子供と一緒に布団で眠りながら、また子供が眠った後に寝床の中で論文の構想を立てたり、つい気になって暗闇の中、スマートフォンで調べ物をしてしまいます。時々脳がフル回転させられて、パソコンのようにフリーズしてしまうこともあります。土日に行われる学会や講演会などでは、可能な場合は子供たち同伴で参加します。最近では小さな研究会などで私が発表するのを、「ママ、頑張れ!」と応援してくれま

学術研究部教養教育学系 准教授

水野 真理子

立山町生まれ。2003年富山大学大学院人文科学研究科修士課程修了、富山大学他で非常勤講師をしながら、2012年京都大学大学院博士課程修了、博士号(人間・環境学)取得。2014年より富山大学大学院医学薬学研究部医療基礎(英語)、2018年より富山大学教養教育院准教授。専門は日系アメリカ文学、富山出身、富山に関連のある作家・文学研究。



授業は楽しく!

す。その一方「ライフ」のほうと言えば、子供と一緒に遊ぶ、出かけることが私のライフです。子供と遊ぶときにはそのことしか考えません。仕事のことを考えると、どうしても子供との向き合い方がおろそかになってしまうからです。今しか味わえない子供とのかけがえのない時間は、とても大切なライフそのものです。ですから、私の生活における「ワーク・ライフ・バランス」は、保たれているとも言えるし、ごちゃごちゃに入り組んで、何がワークで何がライフがよくわからない状態とも言えます。

このようなざりざりの生活を送る毎日ですが、やはりジェンダー格差については思わずにはいられません。女性が輝く社会を目指すことは素晴らしいことですが、それを実現するためには、もう一つ越えなければいけない大きな壁があると感じます。各夫婦間、家庭によって仕事、家事、育児の役割分担はさまざまであると思いますが、まだまだ拭い去れない「男は仕事、女は家事・育児」という概念は、男女とも無意識下に刷り込まれており、働く女性の負担は現実問題、かなり重いものです。「ワーク・ライフ・バランス」を保つためには、夫婦間の仕事、家事、育児分担のあり方、ジェンダー間の平等性、古い日本の固定的な男女観など、工夫したり打ち破ったりしなければいけないことがまだまだありそうです。それでも、このような問題をあれこれ考えていられるのも、ひとまずは平和に暮らしているからで、そのことにまずは感謝しながらも、それぞれの立場の人々が「ワーク・ライフ・バランス」を保てる世の中になるにはどうしたらよいのだろうか、子供たちの寝顔を見ながら考えるわけです。

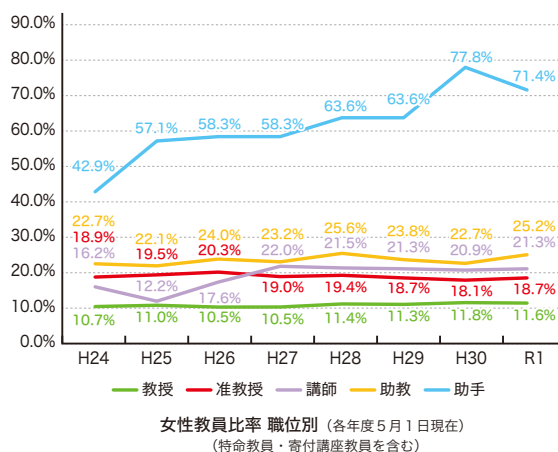


講演会も子供たち同伴!

富山大学
数字で見る
いろいろな
98654321

富山大学の職位別女性教員比率の推移

右のグラフは、平成24年度から令和元年度までの富山大学における常勤の女性教員(教授、准教授、講師、助教、助手)の比率の推移を表したものです。第19号では、学部別の女性教員比率を示し、文系学部(人文学部、人間発達学部、経済学部)および医学部(比て理系学部(薬学部、理学部、工学部)の女性教員比率が低いことを示しましたが、職位別に見ると女性教員の比率が高い職位は助手ということになります。助手の職位は博士の学位を必須としないことから、博士の学位を取得する女性の割合が男性に比べ低いということが、助手の女性教員比率が高い原因の1つとして推測されます。博士の学位を取得するには、学士課程(4年間)、修士課程(2年間)、博士課程(3年間)を経る必要があり、学部卒業後5年という長い期間研究に打ち込むことが必要になります。助手以外の職位の女性教員の比率を向上させるためには、男女がライフイベントを共有し、女性も長期にわたり研究に打ち込めるようにする仕組みを作ることが鍵となるかもしれません。



発行

富山大学男女共同参画推進室

〒930-8555 富山市五福3190
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp
TEL 076-445-6239



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



富山大学男女共同参画推進室

News Letter

Office for promotion of Gender Equality , University of Toyama

TOPICS

- ご挨拶 ■ 事業報告
- 富山大学における 出産・育児・介護支援制度一覧
- スポットライト ■ お知らせ
- リレーでつなぐワーク・ライフ・バランス
- 数字で見る富山大学のいろいろ

2020.3
第20号

チューリップの花言葉は
「愛、思いやり」です

ご挨拶

男女共同参画担当理事 武山 良三



今年度から男女共同参画推進室の担当となりましたが、まずはその活動項目の多さに驚きました。ハッピー・キャリア・ミーティング、スマート・ポリネーター、Smart Café、キャリアUP支援講座等々、当初は取り組み名称と事業内容を一致させるだけで手一杯でしたが、時と共に区別できるようになりました。これらの活動では、これまでほとんど交流がなかった他学部の先生方や学生、さらには大学外の方々から話を聞く機会ができました。女性目線で見た大学、あるいは子育て世代から考えた研究など、今までになかった観点からのお話は実に新鮮で楽しいです。これからも新たな気づきが得られる機会となるよう積極的に関わっていきたくと考えています。

男女共同参画推進室長 宮内 伸子



昨年(2019年)4月より室長を務めております宮内です。人文学部(昨年10月からは人文科学系所属)の教員で、昨年度一昨年度の2年間は人文学部の副学部長をしておりました。推進室の業務は学部運営の仕事とはだいぶ趣が異なり、着任当初は戸惑うことも多々ありましたが、担当理事、二人の副室長、WG長をはじめとする委員の皆さま、それから推進室の事務の方々に助けられて、今日までどうにか任務を遂行して参りました。微力ながら、本学の男女共同参画、ダイバーシティの推進に精一杯努めていくつもりですので、皆様どうぞお力添えくださいますようお願い申し上げます。(本紙スポットライト欄にも書かせていただきましたので、そちらもお読みいただければ幸いです。)

男女共同参画推進室副室長 大路 貴久



私は、男女共同参画推進委員会が発足された2011年に委員となり、News Letter創刊号「リレーでつなぐワーク・ライフ・バランス vol.1」を執筆しました。あれから約9年が経ち、一定の新鮮味があつた「男女共同参画」というワードも、今や当たり前の響きとなりました。男女関連のイベントに参加すると、これまでの取り組みが成果となり、社会が動いていることを実感します。時流は「男女共同参画」から「ダイバーシティ」に変化してきています。全ての人がダイバーシティについて考え、多様性を受け入れる度量を持つことが肝要であると思います。この変革期に、副室長として、担当理事、室長にご指導を仰ぎながら、スタッフの皆様とともに推進室のさらなる発展に尽力して参ります。

男女共同参画推進室副室長 佐藤 杏子



2019年7月より男女共同参画推進室副室長に着任いたしました佐藤杏子と申します。2017年より約2年間、男女共同参画推進室のコーディネーターとして本学の男女共同参画に携わると同時に、理学部生物学科にて研究を進めてまいりました。本学は研究の拡大・活性化を目指し、女性研究者比率の伸び悩む理工系の女性研究者を積極的に増やす取組を続けています。研究者に限らず女性が働き続けることには多くの困難が伴います。私自身も研究者として、子育てをしながら働く女性として、多くの挫折や失敗を経験しました。それらの経験を本学の男女共同参画推進に活かせるよう、努力を重ね、精励してまいります。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

本学職員の中には、親の支援のない中で育児に奮闘されている方も少なくないと思います。また、親の介護をどこに相談してよいやらわからず、お困りの方もいらっしゃると思います。本号には富山大学の出産・育児・介護支援制度一覧と介護相談体制の案内があります。一人で悩まず、どうか相談してください。

富山大学男女共同参画推進室News Letter編集メンバー
谷井 一朗 鈴木 見志郎 長谷川 英之 小田 夕香理 女川 佑可子 高野 直子 甲斐田 直

新委員紹介

男女共同参画推進委員会新委員紹介

平成31年4月1日より、武山良三理事が男女共同参画推進委員会委員長、並びに宮内伸子学長補佐が男女共同参画推進室長に就任いたしました。また、任期満了に伴い、新たに8名の委員を迎えました。全学の男女共同参画推進のために活動しています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

男女共同参画推進委員会 新委員

学術研究部人文科学系	鈴木晃志郎
学術研究部社会科学系	岩本 学
学術研究部工学系	長谷川英之
学術研究部芸術文化学系	小田タ香理
学術研究部医学系	米田 徳子
総務部企画評価課	坂本 晶奈
医薬系事務部医薬系総務課	女川佑可子
男女共同参画推進室	甲斐田 直

ワーキンググループ(WG)一覧

①学内公募関連	④数値管理
②啓発	⑤学童保育
③ニュースレター	⑥次世代育成

ワーキンググループ(WG)紹介

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業を推進するため、男女共同参画推進委員会の全委員がWGに所属し、本事業のほか、全学の男女共同参画を推進します。

事業報告

富山大学理系女子大学院生チーム「スマート・ポリネーター」任命式を開催

富山大学は、平成30年度に男女共同参画推進事業の一環として、理系女子を増やす活動を担う理系女子大学院生チーム「スマート・ポリネーター」プログラムを創設しました。学内公募を行い、審査を経て任命に至ります。二年目となる今年度は、理工学教育部、生命融合科学教育部、医学薬学教育部の院生、計11名をスマート・ポリネーターに任命することを決定し、7月1日、富山大学五福キャンパスにて任命式を行いました。任命式では齋藤滋学長より受命者一人一人に任命書が手渡された後、武山良三理事・副学長(男女共同参画担当)らが、「それぞれの個性を生かし、身近なロールモデルとして次世代育成のために活躍してほしい」と受命者を激励しました。受命者は、自らの研究内容やライフスタイルの紹介を通して理系女子の裾野拡大を図る活動や、理系の分野で活躍するOGらを招いた講演会・座談会を企画・開催するなど、女子学部生や女子中高生に向けて科学の魅力や研究の面白さを伝える、次世代育成のための啓発活動を行います。



任命式にて

富大☆ハッピー・キャリア・ミーティングを開催

■日 時：令和元年10月27日(日) 13:00～16:00
■会 場：杉谷キャンパス 薬学部研究棟2、7階 セミナー室7、8
■対 象：大学生、大学院生、教職員、中高生、一般 ■参加者：26名

杉谷キャンパス薬学部にて富山大学理系女子大学院生チーム「スマート・ポリネーター」がオーガナイズする部局横断ミーティング「富大☆ハッピー・キャリア・ミーティング 教えて先輩!女性研究者のプロの仕事」を開催いたしました。

このシンポジウムは、第一線で活躍する女性研究者の講演、座談会とスマート・ポリネーターのポスター研究紹介、進路相談会を行うことで、参加した女子学生に向けて科学と研究の魅力を伝えるための啓発活動として、平成29年度より開催しています。

今年度は、国立大学法人群馬大学食健康科学教育研究センター講師・藤原亜希子先生と国立大学法人信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター助教・山口智美先生を講師としてお招きしました。

藤原先生のご講演では、現在の研究内容とともに、どのように情報収集を行い、様々な出会いを経て現在の研究を行っているかを具体的にお話いただきました。山口先生からは、一般企業への就職から大学での研究者の道をどのように歩んできたのか、ご自身の研究内容とワーク・ライフ・バランスについて合わせて語っていただきました。

質疑応答・座談会では「研究内容について」、「異なる研究分野に挑む際のモチベーションとは」、「それぞれの所属機関での女性研究者への支援状況」など、先生方に多くの質問が寄せられ、その後のスマート・ポリネーターのポスター研究紹介、進路相談会においても盛会となりました。

アンケートでは「女性の大学院を卒業された方のキャリアモデルを知る貴重な機会となった。」などの意見がありました。



藤原 亜希子 先生

山口 智美 先生



富山大学学長賞

第3回「未知に挑む女性研究者賞」表彰式 及び 受賞記念講演

富山大学における女性研究者の優れた研究と高い将来性を称えるために「未知に挑む女性研究者賞」の表彰式を開催しました。本賞は、人文・社会科学ならびに自然科学の各分野において優れた研究成果を挙げ、将来的に国内外で当該研究分野をけん引していく高いリーダーシップが期待される女性研究者を顕彰することにより、女性研究者の研究意欲の向上、学術研究の将来に資する人材育成等を目指すものです。

第3回となる本年度は、厳正な審査のうえ、女性研究者部門1名、女子学生部門1名が選ばれました。また、本年度は奨励賞を追加し女性研究者部門2名が選ばれました。齋藤滋学長から4名に表彰状と副賞が授与され、また、記念品として女性研究者部門の梅澤礼先生と女子学生部門の孫思嘉さんに本学芸術文化学部卒業生がデザインしたガラスの表彰盾が授与され、続いて受賞記念講演を行いました。受賞者の今後の益々の活躍が期待されます。

ガラスの表彰盾
デザイン:湯浅 瑛里子
(芸術文化学部卒業生)
三芝硝材株式会社



表彰式



受賞記念講演



学術研究部 人文科学系
准教授
梅澤 礼 先生

【受賞記念講演タイトル】
近代フランスの文学・科学・
マージナリゼーション



このたびは未知に挑む女性研究者賞をいただき、まことにありがとうございます。私の研究「近代フランスの文学、科学、マージナリゼーション」は、近代社会が社会的弱者をどのように表象し、扱ってきたのかを追うものです。とくに、これまでの成果をまとめた拙著『囚人と狂気—19世紀の監獄、文学、社会—』は、第36回渋沢・クロード賞奨励賞を受賞しました。

こんにち、人文学においても領域横断的な研究や「役に立つ」研究が求められはじめています。私の研究は、こうした新しい人文学研究を率いてゆくだけでなく、社会の中で人文学に何ができるのか、人文学と科学はどのように協力してゆくべきなのかをも、問いかけるきっかけになるのではないかと考えています。



医学薬学教育部(薬学)
博士後期課程2年
孫 思嘉 さん

【受賞記念講演タイトル】
各地の生薬から栄養飢餓に
対する耐性を解除する
天然抗がん化合物の探索



この度は富山大学学長賞を賜り大変光栄に存じます。初の外国人女性研究者として受賞して大変嬉しく思います。齋藤滋学長ならびに関係者の皆様、これまでご指導いただいた天然薬物開発研究室のスレスアワレ准教授に心から感謝申し上げます。先生の熱意あるご指導と支えを受けてこれまでの研究成果を得ることができ、恵まれた環境で研究ができることに感謝しています。また、研究費を助成してくださった小林財団の皆様にも感謝申し上げます。私は、各地の生薬から栄養飢餓に対する耐性を解除する天然抗がん化合物を探索しています。膀胱がんは最も5年生存率が不良で、より有用な治療薬の開発が求められます。自分の研究が今後の医療の発展に少しでも繋がるようこれからの研究活動にも励みたいと思います。

奨励賞



学術研究部
薬学・和漢系
准教授
田淵 明子 先生



この度は栄誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。身の引き締まる思いです。審査に携わってくださった先生方、関係者の皆様、本学分子神経生物学研究室の研究員、そして共同研究者の方々に感謝申し上げます。

私は留学を機に、血清応答因子(SRF)という転写因子とそのコファクターの機能を解明する研究を立ち上げました。素晴らしい仲間たちに恵まれて、これまでに樹状突起形成やシナプスの成熟という神経細胞の形態に関わる機能やシナプスで働く分子の遺伝子発現制御に関わる機能を明らかにすることができました。まだ道半ばですが、創薬基盤構築の一助となる研究に発展させていきたいと考えています。今回の受賞を励みとし、真摯と謙虚をモットーに精進して参ります。



学術研究部
医学系 講師
三澤 恵 先生



この度は「未知に挑む女性研究者賞」奨励賞を賜り大変光栄に存じます。齋藤滋学長、ならびに関係者の皆さま、これまでご指導いただいた皮膚科清水忠道教授に心から御礼申し上げます。私はこれまで骨髄性プロトポルフィリン症の日本人患者の特徴に着目した臨床研究を行って参りました。通常では症状を呈さないとされていた日本人に多い遺伝子多型が原因で軽症の骨髄性プロトポルフィリン症を生じることを解明し、不完全骨髄性プロトポルフィリン症の概念を提唱するに至りました。この不完全骨髄性プロトポルフィリン症は日本人に潜在的に存在している可能性があります。この受賞を励みに今後は疫学調査も含め、更なる研究の発展のために邁進したいと思います。

国際シンポジウム

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の一環として、国際シンポジウムを開催した2名の女性研究者を支援しました。

哲学対話がひらく可能性◇教育・医療・福祉◇ 「哲学対話教育」実践と応用のための公開シンポジウム

■日時：平成31年3月17日(日)～3月18日(月)
■会場：五福キャンパス黒田講堂

富山大学教養教育院主催、富山大学国際機構共催、富山大学男女共同参画推進室およびWallonie-Bruxelles International(ベルギー)協賛、富山県教育委員会、富山市教育委員会後援のもと、教育手法として世界的に注目されている「哲学対話」をテーマとする国際シンポジウムとワークショップを開催した。「哲学対話」の研究者であり実践者である中岡成文氏(元大阪大学)、Nathalie Frieden氏(スイス、元フリーブル大学)、Denis Pieret氏(ベルギー、リエージュ大学)による講演のほか、「哲学対話」を実際に行うワークショップには、全国各地から参加者が集まり、全体会議では活発な議論が交わされた。「哲学対話」は高等教育のみならず、幼児教育から生涯学習、医療の現場や各種更生施設、一般企業の社員研修にも応用されていることから、当初よりこの企画は、学内と広く一般を対象として開催することにより、地域の人材育成に貢献するとともに、本学の教養教育の取り組みの意義を社会に発信することを目指した。関係各所の多大なご協力により、企画を実施できたことに心から感謝したい。詳細は、本学教養教育院紀要第1号(2020)に掲載の報告書をご覧ください。

学術研究部教養教育学系 教授 佐藤 真生子



会場からの質問に答える講演者と同時通訳者

「精神医学と人文学」

■日時：令和元年11月1日(金)
■会場：五福キャンパス人文部 大会議室

精神医学は人文学に、どのような発見をもたらしてくれるのでしょうか。人文学は精神医学に、どのように貢献しうのでしょうか。

11月1日、人文学部で、領域横断型国際シンポジウム・ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業助成シンポジウム「精神医学と人文学」が開催されました。このシンポジウムは、一見かけ離れているように思える理系と文系(実学と虚学)と言い表されることもあります)2つの学問の協力の可能性を探ろうとするものです。

まず基調講演として、ローザンヌ大学医学人文学科オード・フォーヴェル准教授に、ヨーロッパの精神医学の歴史についてお話いただきました。その後フランス文学、日本文学、比較文学、それに犯罪学史の専門家が、それぞれの分野と精神医学の関係について発表しました。

人文学部の教員や学生のほか、医学部をはじめとする他学部の教員、そして一般の方のご参加もいただいたおかげで、理系と文系の橋渡しの試みを、日本の地方都市である富山から、それも女性を中心となってできたことを、参加者一同感謝しております。

学術研究部人文学系 准教授 梅澤 礼



フォーヴェル先生の講演

夏季学童保育及びサマーわくわく教室を開催



■開催日：五福キャンパス 令和元年7月29日(月)～8月2日(金)5日間
杉谷キャンパス 令和元年8月5日(月)～8月9日(金)5日間
■会場：五福キャンパス 多目的利用室(学生会館2階)
杉谷キャンパス 災害対策プラザ
■対象：本学教職員の子(小学生)



①おりがみ折ってみよう!
らせんから広がるいろいろな形
川部 達哉 先生(理学部)



②手作りおもちゃで遊ぼう
清水 保夫 先生(県児童クラブ)



③科学マジック体験!
戸田 英樹 先生(工学部)



④オリジナルうちわを作ろう
渡邊 雅志 先生(芸術文化学部Art For All)



⑤コンピュータで遊ぼう
成行 泰裕 先生(人間発達科学部)

令和元年度で11回目の夏季学童保育を10日間開催し、利用教職員74人、のべ343人の児童が参加しました。本学教員をはじめとする先生にご協力いただき、17種類、のべ20回のサマーわくわく教室を開催いたしました。



⑥おりがみ折ってみよう!
らせんから広がるいろいろな形
川部 達哉 先生(理学部)



⑦Let's Enjoy English!
水野真理子 先生(教養教育院)



⑧先で遊ぼうーピンホールカメラ
小林かおり 先生(理学部)



⑨どうくつのヒミツを探れ
柏木 健司 先生(理学部)



⑩手作りおもちゃで遊ぼう
清水 保夫 先生(県児童クラブ)



⑪未来の薬剤師Petit
藤 秀 先生(薬学部)



⑫半田工作 ライトレース
ロボット製作でものづくり力を高めよう!
戸田 英樹 先生(工学部)



⑬サメの歯のヒミツ
柏木 健司 先生(理学部)



⑭科学マジック体験!
戸田 英樹 先生(工学部)



⑮Let's Enjoy English!
水野真理子 先生(教養教育院)



⑯半田工作 ライトレース
ロボット製作でものづくり力を高めよう!
戸田 英樹 先生(工学部)



⑰ともだちをたすけよう!
種市 尋由 先生(附属病院)



Smart Café

Smart Caféは、第一線で活躍する富山大学の各部署の研究者から、研究者を志すきっかけや仕事と家庭の両立、海外留学、ライフスタイルなどのお話を伺っています。

Smart Café in 都市デザイン学部

- 日 時：2019年2月6日(水) 12:15～12:45
- 会 場：五福キャンパス 工学部総合教育研究棟2階の学生ラウンジ
- 対 象：学生(学部生・大学院生)、大学関係者等
- 参加者：14名

「Smart Café in 都市デザイン学部」を開催しました。男女共同参画推進委員会委員の川崎一雄先生(地球システム科学科)の司会により、高柳百合子先生(都市交通デザイン学科)から「都市計画を仕事にするってどういうこと?」と題してお話いただきました。



Smart Café in 工学部

- 日 時：2019年2月7日(木) 13:00～14:00
- 会 場：五福キャンパス 工学部1階 クリエーションスペース
- 対 象：学生(学部生・大学院生)、大学関係者等
- 参加者：22名

司会を源明誠先生(環境応用化学科)にご担当いただき「Smart Café in 工学部」を開催しました。男女共同参画推進委員会委員の戸田英樹先生(電気電子システム工学科)から「研究者のワークライフバランスが難しい原因」という演題でご講演いただきました。



Smart Café in 工学部 ～電電女子座談会～

- 日 時：2019年5月22日(水) 14:45～
- 会 場：五福キャンパス 電気棟2階小川研ゼミ室
- 対 象：工学部電気電子システム工学科／電気電子工学コースおよび大学院電気電子システム工学専攻の女子学生

5月22日(水)電気棟2階小川研ゼミ室にて、Smart Café 電電女子座談会が開かれました。先輩方が準備して、迎える立場となってその場にいる姿が、とても頼もしく見えました。座談会は、準備された質問をもとに、先輩から順番に話を聞きながら、徐々に打ち解けていきました。

準備された質問

- 電電に入学しようと思った理由
- 女子が少ないが、進路を決めるときに不安はあったか?
- 入学して良かったと思うことは?
- 入学してみて電電の印象は変わったか?
- 女子は増えてほしいか、また、どうすれば女子が増えると思う?

そのなかでもこれから、進路を考える学生達は、就職と進学に分かれていく先輩方のお話を、熱心に聞き入っていました。また、先輩方が口をそろえて、交友関係を幅広く持つことと、良い関係を築くことの大切さを、解りやすく話してくれました。Smart Café in 工学部 電電女子座談会は、終始、声が途切れることなく和やかな雰囲気、とても有意義な会となりました。



- 工学部電電女子座談会の様子はこちらをご覧ください。

Smart Café in 医学部 ～キャリアアップ座談会～

- 日 時：2019年9月30日(月) 18:00～19:00
- 会 場：杉谷キャンパス 附属病院2階 臨床講義室I
- 対 象：学生(学部生・大学院生)、医師(研修医含む)、大学関係者等
- 参加者：58名

「Smart Café in 医学部」は、本学附属病院女性医師支援室、富山県医師会、当推進室が主催、日本医師会、富山大学医師会と共催し、女性医師のキャリア形成・継続の支援を目的として、第一線で活躍する女性医師からお話を伺いました。初めに附属病院長の眼科学教授・林篤志先生と眼科学診療講師・上田朋子先生に、「眼科女医のほんとうの姿とは」と題してペアトーク形式でお話いただきました。続いて、大阪大学視覚先端医学寄附講座准教授・高静花先生から「まあるく、きらりと、私らしく～親連れ子連れ留学経験のある眼科医より～」という演題でご講演いただきました。



Smart Café in 人文学部

- 日 時：2019年10月12日(土)、13日(日) 両日とも10:30～12:00
- 会 場：五福キャンパス 災害対策プラザ
- 対 象：学生・教職員・一般
- 参加者：18名

「男女共同参画からダイバーシティ・SDGs推進」との副題をつけて、10月12日-13日の週末に二日続けて、人文学部准教授・林夏生先生を講師にお迎えし、講演会を開催しました。初日は入門編「性の多様性を知ろう」、二日目は中級編「くちがいを超えて-共に学び働くには-」という内容です。

講演が終わった後も、展示の書物を熱心に見ているかた、参加者同士のお話等が続き、まだまだ先生のお話を聞きたいとの声も聞かれるほど、中身の濃い Smart Caféとなりました。



Smart Café in 工学部

- 日 時：2019年10月29日(火) 13:15～14:20
- 会 場：五福キャンパス 総合教育研究棟32講義室
- 対 象：学生(学部生・大学院生)、大学関係者等
- 参加者：29名

男女共同参画推進委員会委員、工学科電気電子工学コース准教授・戸田英樹先生の司会により和やかな雰囲気スタートしました。まず、教養教育院講師・大橋隼人先生から「とある研究者のいろいろ奮闘記:学生結婚から戸建て購入まで」を、男女共同参画推進室副室長、工学科電気電子工学コース教授・大路貴久先生から「研究者を妻に持つ夫のはなし」という演題でご講演いただきました。アンケートでは「今後の自分の将来についての知見が広まった」「色々な失敗例と成功例の具体的な話を聞ける貴重な機会ですとても勉強になった」等の声が寄せられました。



Smart Café in 理学部

- 日 時：2019年10月23日(水) 15:00～16:00
- 会 場：五福キャンパス 理学部A424
- 対 象：学生(学部生・大学院生)、大学関係者等

今年度7月に着任された理学部助教・佐藤杏子先生がどのように研究者になられたのかを「専業主婦、研究者になる!」と題して、この「Smart Café in 理学部」でお話いただきました。ご講演の後も参加者が佐藤先生だけでなく、土田努先生、小林かおり先生へ熱心に質問している姿も見られ、盛会となりました。



Smart Café in 芸術文化学部 簀谷家の仕事と子育て

- 日 時：2019年12月6日(金) 12:10～12:55
- 会 場：高岡キャンパス B-212教室
- 対 象：学生(学部生・大学院生)、大学関係者等
- 参加者：33名

Smart Café in 芸術文化学部では「簀谷家の仕事と子育て -主に妻編- 動物と人のあいまにあるもの」というテーマで芸術文化学系講師・簀谷祐介先生とライター・簀谷智恵氏にご講演いただきました。



Smart Café in 人間発達科学部

- 日 時：2019年12月18日(水) 13:00～15:00
- 会 場：五福キャンパス 人間発達科学部棟211教室
- 対 象：学生(学部生・大学院生)、大学関係者等
- 参加者：15名

Smart Café in 人間発達科学部では「教師のライフコースについて語り合う」と題し、本学人間発達科学部附属特別支援学校・柳川公三子先生と本学客員教授の元富山市立中学校校長・安井俊夫先生をゲストにお招きして座談会を行いました。



事業報告

Smart Forumを開催

- 日 時：令和元年11月21日(木)17:40～18:40
- 会 場：五福キャンパス 黒田講堂会議室
- 対 象：教職員・学生・一般 ■ 参加者：61名

富山大学は平成27年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、5年目を迎えました。女性研究者の活躍や裾野拡大を目指すこの事業内容を学内で共有し、今後の男女共同参画推進の基盤とするため11月21日(木)にSmart Forumを開催しました。

まず初めに、宮内伸子学長補佐・男女共同参画推進室長より、本事業の報告を行いました。続いて、第3回富山大学学長賞「未知に挑む女性研究者賞」の表彰式及び受賞記念講演(学術研究部人文科学系准教授・梅澤礼先生、医学薬学教育部薬科学専攻・孫思嘉さん)、並びにスマート・ポリネーター指導教員への感謝状贈呈式とスマート・ポリネーターによる活動報告を行いました。

宮内伸子学長補佐・男女共同参画推進室長から、本事業の最終年度に向けて富山大学の男女共同参画推進を発展させていく旨の挨拶があり閉会しました。



齋藤学長、理系女子大学院生チーム「スマート・ポリネーター」指導教員、スマート・ポリネーター



事業報告



スマート・ポリネーター活動報告

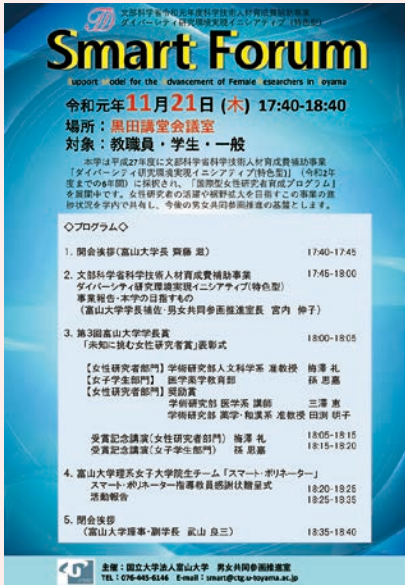
国際的に活躍する日本人女性科学者による特別講演会 Petite Science in 富山大学(プチ・サイエンス・イン富山大学)

- 日 時：平成31年4月13日(土) 13:00～14:30
- 会 場：五福キャンパス災害対策プラザ2階セミナー室
- 対 象：中学生・高校生・学生・保護者・教員・一般 ■ 参加者：20名

理工系分野の裾野拡大・次世代育成を目的としたロールモデルによる講演会「プチ・サイエンス・イン富山大学」を理学部とともに開催しました。

モナシュ大学マレーシア校医学部脳科学研究所の曾我朋子准教授をお招きし、「私とサイエンスをつなぐ不思議なスパイス:未来の科学者さんたちへ」と題したご講演をいただき、学内外から女子高校生を中心に20名が参加しました。マレーシアの大学の研究環境や教育現場の様子、各研究領域の紹介、先生の歩んで来られた道のり、現在の研究内容について、楽しくわかりやすくお話しいただきました。最後に、「好奇心旺盛に知らない世界に飛び込む勇氣、自分の好きな分野・興味あることを徹底的に追求する気持ち、折れない心、失敗だけでなく大好きを忘れないこと」が大切であるという次世代に向けた熱いメッセージもいただきました。質疑応答・ディスカッションでは高校生から多くの質問が挙がり、それぞれに丁寧に回答していたいただき、閉会後も先生に対する質問が相次ぎました。

参加者アンケートでは、「海外での研究や大学にとっても興味を持った。詳しい話を聞けて良かった。」「研究者の方に直接お話を聞けて良かったです。」などの感想がありました。



令和元年度学内公募・採択結果について

国際的視野に富む女性研究者の育成や、子育て・介護などのライフイベント中の研究者の支援を目的として学内公募を行いました。

「論文投稿セミナー」及び「英語論文投稿講座」を開催

- 講 師：【セミナー】高石 雅人 氏(エルゼビア・ジャパン(株))
【セミナー】湖城 恵 氏(エルピクセル(株))
【セミナー】名久井 舞子 氏(アドビシステムズ(株))
- 【講 座】石堂 きよみ 氏(クラリベイト・アナリティクス)
- 日 時：【セミナー】令和元年9月24日(火)13:30～16:30
【講 座】令和元年9月26日(木)13:30～15:00
- 会 場：五福キャンパス 黒田講堂 会議室
- 対 象：教員、大学院生
- 参加者：【セミナー】92名、【講 座】66名

富山大学における 出産・育児・介護支援制度一覧

- 令和2年1月現在。国立大学法人富山大学規則集に基づき作成。 ●詳細については、必ず規則を確認の上、所属部局の事務担当者にご確認ください。
- 職員からの請求により制度が利用できます。

	雇用形態			給与		結婚等	妊娠が 発覚した時	産前 (8週)	出産	産後 (8週)	産後	子1歳	子2歳	子3歳	小学校 就学前	小学校 入学
	常勤	契約 ^{*1}	パート ^{*2}	常勤	契約 ^{*3}	常勤	契約 ^{*4}									
結婚 妊娠 出産 育児	●	-	-	有	-	結婚休暇										
	●	●	●	有	無			妊産婦への業務免除・業務軽減 通勤緩和・休憩・保健指導・健康検査								
	●	●	●	有	無			産前休暇 (産前8週) ^{*3}		産後休暇 (産後8週)						
	● ^{*4}	● ^{*4}	● ^{*4}	無	無						女性の育児休業					
	●	-	-	有	-			配偶者の 出産休暇								
	● ^{*4}	● ^{*4}	● ^{*4}	無	-			配偶者の育児休業(産前6週 ^{*3} ～産後8週)								
	● ^{*4}	● ^{*4}	● ^{*4}	無	無 ^{*5}				男性の育児休業							
	●	●	●	無 ^{*5}	無 ^{*5}						育児部分休業					
	● ^{*4}	-	-	無 ^{*5}	無 ^{*5}						育児短時間勤務					
	●	●	● ^{*6}	-	-						時間外・休日・深夜労働時間の制限					
	●	●	● ^{*6}	-	-						時間外・休日・深夜労働時間の免除					
	●	●	●	-	-						早出遅出労働					
	●	●	●	有	無						保育休暇					

	雇用形態			給与				
	常勤	契約	パート	常勤	契約 ^{*3}			
介護	●	● ^{*8}	● ^{*8}	無	無	介護休業		
	●	●	●	無 ^{*5}	無 ^{*5}	介護部分休業		
	●	●	●	有	有	介護休暇		
	●	●	● ^{*6}	-	-	時間外・休日・深夜労働の制限又は免除		
	●	●	●	-	-	早出遅出労働		

ここで述べる子とは「小学校就学の始期に達するまでの子(実子、養子、職員が特別養子縁組の成立に係る監護を現に行う子、養子縁組里親である職員に委託されている子及び当該職員を養子縁組里親として委託することが適当と認められているにもかかわらず、実親等が反対したことにより、当該職員を養育里親として委託された子)」をいう。

- *1:診療助手、医員、大学院医員、臨床研修医は契約職員と同様の扱い
- *2:医員及び大学院医員のうち、週4勤務の者はパート職員と同様の扱い
- *3:多胎妊娠の場合は14週
- *4:期間を定めて雇用される職員は下記のいずれにも該当する場合、制度の利用が可能
 - ①引き続き雇用された期間が1年以上であること
 - ②子が1歳6か月に達する日を超えて引き続き雇用されることが見込まれること
- *5:休みの分は、給与から減額

- *6:パートは時間外・休日・労働時間の制限・免除のみ
- *7:産前の早出遅出労働については、「妊産婦への業務免除・業務軽減」の場合と同様の対応
- *8:期間を定めて雇用される職員は下記のいずれにも該当する場合、制度の利用が可能
 - ①引き続き雇用された期間が1年以上であること
 - ②介護休業開始予定日から93日を経過する日(93日経過日)を超えて引き続き雇用されることが見込まれること

- (1)女性研究者の短期留学助成:採択2件(アメリカ1件、カナダ1件)^{*}
- (2)研究サポーター制度:採択計7件
 - ①ライフイベント中の女性研究者への研究サポーター制度:3件^{*}
 - ②研究サポーター制度:4件(男性研究者対象)

^{*}文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」にかかる公募

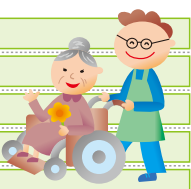
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)事業「国際型女性研究者育成プログラム」の一環として、研究推進機構、附属図書館とともに「論文投稿セミナー」及び「英語論文投稿講座」を開催しました。

アクセプトされやすい論文や画像処理の技術向上の観点、英語論文執筆に必要な研究メソッドなどについて幅広い内容をご教授いただき有意義なセミナー、講座となりました。

また、今年度はセミナー及び講座について学内に向けてWEB配信を行いました。



男女のための 女性のための 男性のための



その他の特別休暇

- ・リフレッシュ休暇
- ・公民権休暇
- ・裁判員等出頭休暇
- ・忌引き休暇 ・災害休暇 等

参考
国立大学法人
富山大学規則集
(学外版)
<http://www3.u-toyama.ac.jp/sourmu/kisoku/index.htm>



文部科学省令和元年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」 「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」プログラムを実施

富山大学は、文部科学省「男女共同参画のための学び・キャリア形成支援事業」に昨年度に引き続き採択され、地域とのネットワークの中で「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」プログラムを実施し、女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みを構築すること、またその実証を試みました。

「女性のためのキャリアUP支援講座」として開催した全10回の講座は延べ111人が受講しました。その際、無料の託児支援を行い、延べ約60人のお子さんを預かりました。

講座の前半5回は「キャリアコース」として、傾聴・アサーション・コーチングなどに詳しい講師を迎えて、自己および他者理解の深化、自身の適性や能力の把握について学び、キャリアアップへ向けてのサポートを行いました。後半5回は「教養コース」として、仕事術や情報の扱いについて学び、様々な事柄を通して知識や教養を深め、貴重な情報源として活用する力を身につけました。受講者の37%が育児休業中、30%が再就職希望者でした。今後どのように仕事と向き合っていくのか、受講者それぞれが答を見つける支援ができました。

プログラムの集大成として、男女共同参画の推進にむけて県内の各企業がどのような工夫をしているのか、また女性たちは社会人の一人として輝くことができるような努力をしているのか、県内関連企業および関連機関の担当者を迎えて令和元年12月4日(水)に富山国際会議場においてミニフォーラムを開催しました。各企業から育児および介護中の社員への補助制度、テレワークや有休の積立制度、有休の時間取得や男性社員の育休制度の導入、外部の女性セミナーへの参加援助や女性ならではの視点からの商品開発など、多岐に渡り女性への、あるいは男女の別無く行っている支援や就労の工夫等が紹介されました。また、「女性のためのキャリアUP支援講座」を実際に受講された方お二人にもお話を伺いました。

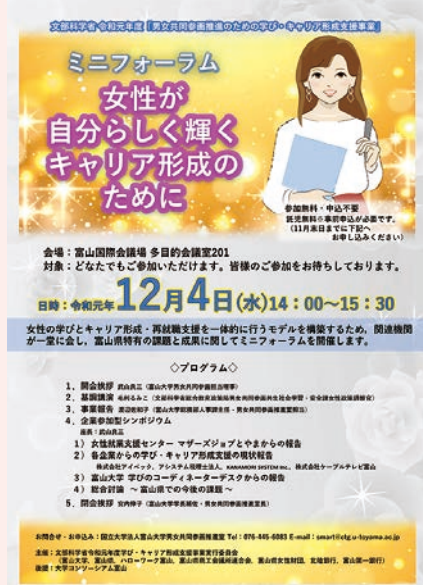
女性の学びとキャリア形成支援に関して県内関連企業および関連機関が一堂に会し、富山県特有の課題とその解決を目指して、さらに自分や家庭を大切にできる働き方の実現に向けて意見交換し情報共有する場となりました。



ミニフォーラム開会挨拶
武山富山大学理事



保育支援



ミニフォーラム総合討論
(向かって左から)
富山大学理事 武山良三
女性就業支援センター 山口 秀子 様
株式会社アイベック 荒木 和 様
アシステム税理士法人 片山 さゆり 様
KANAMORI SYSTEM Inc. 國分 輝美 様
株式会社ケーブルテレビ富山 木原 美和 様
ハローワーク富山 業務第二次長 中川 多佳子 様
富山大学コーディネーター 山西 真理子

介護相談を実施

教職員・学生への介護支援の一環として、富山市の神明・五福地域包括支援センターの相談員が大学を訪問し介護相談を行いました。(1件)



学長補佐・ 男女共同参画推進室長 宮内 伸子

今年度4月に男女共同参画推進室長を拝命いたしました。昨年度までの4年間、室長を務められた第2代室長市田落子先生の後任です(初代室長は永山くに子先生)。私としてはこの人事は青天の霹靂とともいうべきもので大変悩みましたが、還暦を過ぎ定年を目前として、長年奉職させていただいた富山大学への恩返しのチャンスと捉え、お受けすることにいたしました。

私は現在人文科学系所属教授ですが、本学に着任したのは1991年で、教養部のドイツ語講師としてでした。2年後に教養部が解体し、人文学部に所属替えとなりました。今また教養教育院ができ、四半世紀という時間はいろいろな変化を生じさせるものとあらためて思います。

時は常に流れていますが、昨年は平成から令和への改元があり、時代の移り変わりが実感できる年となりました。私が大学を卒業した1980年頃は、同級生の中にはそのまま家庭に入る人がいましたし、就職するにしても結婚まで数年間の「社会勉強」という感覚がまだ残っていました。そして老人介護は家庭の中でお嫁さんの役割と決まっていました。1985年に男女雇用機会均等法、1997年に介護保険法が制定され、日本における女性の生き方、働き方に多大な影響を与えました。現在の学生たちの様子を見ると隔世の感を禁じ得ません。

昨年11月に「学術の未来とジェンダー平等:大学・学協会の男女共同参画推進を目指して」(主催:日本学術会議・全国ダイバーシティネットワーク)に参加いたしました。その中で、男女混合の研究チームの方が、男性だけ女性だけのチームに比して成果が上がるという調査結果があると聞きました。多様性が力になることの現れだと思います。そういえば、昨年日本中を沸かせたラグビー日本代表も多様な選手から成るチームでした。

富山大学は平成27年に、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」[事業期間平成27-令和2年度]の採択を受けました。私の室長としての任期はその最終の2年間に当たります。前任の市田室長の後を受けて、まずはしっかりとその締めくくりに努めるとともに、本学のさらなるダイバーシティ推進に向けて活動していく所存です。多様性を認めることが個々人に幸福をもたらし、それが大学ひいては社会全体の繁栄につながることを確信しています。

お知らせ 介護相談実施中

男女共同参画推進室では、富山市にある地域包括支援センターの協力のもと、随時介護相談を受け付けています。相談方法は下記のとおりです。本学教職員・学生は、介護を受けるご家族がどこにお住まいでも相談できます。必要に応じて、介護を受けるご家族がお住まいの地域包括支援センターにお繋ぎすることができます。遠距離介護や、どのタイミングで介護認定を受ければよいのかなど、介護にまつわる様々な悩みに経験豊富なケアマネージャーが対応します。どうぞお気軽にご相談ください。

富山大学介護相談体制

- 対 象：本学に在籍する教職員・学生
- 相談方法：男女共同参画推進室への事前申し込みにより受付を行い、神明・五福地域包括支援センターが相談を受ける。
 - ①本学会会場とする出張相談(介護セミナー等と同日開催)
 - ②神明・五福地域包括支援センターでの相談
- 相談時間：9:00～17:00 ■ 相談料：無料

介護相談流れ図

